

せせらぎ

No.345



2018年4月

滋賀県勤労者山岳連盟 湖南岳友会

目次

1. 表紙とメッセージ	P.1
2. 私のひとりごと	P.2
3. 4月例会山行案内 【姫越山・局ヶ頂(テント泊)】	P.3
4. 2月例会山行報告 【伊吹山】	P.4
5. 3月例会山行報告 【蛇谷ヶ峰】	P.8
6. 2月山行記録	P.10
7. 2月HPアクセスカウント・推移	P.11
8. 2月度定例会議議事録	P.14
9. お知らせ ・ 編集後記	P.15

今後の予定

1. 3月18日(日) 岳友会総会 定例会議 13:00～草津市民交流プラザ
2. 3月21日(水) 例会山行 【取立山(初級)】
3. 4月1日(日) 例会山行 【須磨アルプス縦走(鉢伏山～横尾山)】
4. 4月14日(土)～15日(日)例会山行 【姫越山・局ヶ頂(テント泊)】

表紙からのメッセージ

2011年7月18日に、劔岳北方稜線で出会った雷鳥の親子です。雷鳥はもともと人を恐れませんが、特にここは人が少ないせいでしょうか、手の届く距離になっても逃げようとはしませんでした。最初は雛が親と離れて岩の間の狭い所にいたため、先頭が踏みつけそうになったくらいです。

もう1匹は写っていませんが、4匹の雛が左から右に行進していて、先頭が右下に見えます。もう少し早いと、雛は親鳥のお腹の下に潜り込んで休みますが、満員になって押し出される雛を見たことがあります。



私のひとりごと

小中学校の遠足くらいでしか山に登ったことが無かった私が山登りにはまったのは2年ほど前、会社の仲間と行った阪急芦屋川駅～六甲山最高峰～有馬温泉（泊）の山行で、程よい疲れと温泉とお酒で心も体もリフレッシュできたことに始まった。

それからは、会社の仲間と伊吹山に登ったり、一人で金勝アルプスをブラブラしたりしていたが、なんとなく物足りなさを感じ、また、このままでは今後行きたい山々に登る技術も

つかない！と考え、インターネットで検索した結果、比較的近くで活動をされている湖南岳友会がヒット。お世話になることになりました。

それからは、全く上達せず悶々としていたゴルフはきっぱり（？）と止め、仕事や家庭サービスの合間をぬっては山登り。今までは、あまり関心を持って見なかった山も身近に感じるようになり、「あの山は何という山だろう」「どこから登るのかなあ」と、車を運転していても山ばかりを眺める日々。時には目的もなく、たまたま見えた山の方角に向かってただひたすら車を走らせてしまうことも。



六甲山からみた神戸街並み



例会で登った倶留尊山では眼下に初々しい（？）高校の時に合宿をした青年自然の家が！「あいつ、どうしてるのかなあ」、「そういえば夜に肝試し大会があって女の子と二人きりで歩いて緊張したなあ」とか、いい思い出に浸ることも出来ました。

会社の仲間誘われて数年前に始めたマラソン（というにはタイムが悪すぎジョギングレベル）も今となっては山登りをするためのトレーニング。一つでも多くの山にチャレンジできたらいいなあ。

姫越山 506.8m

局ヶ頂 310.5m

厳しい季節を越えて、あたたかくなった南伊勢の春の山の歴史を、紐解きしながら軽く歩いてみましょう

実施日 4月14日(土)～4月15日(日)

集合場所 甲西文化ホール 8時出発 高速道中2時間

行程

～錦漁港 着

(14日) 歩行6時間 日の出公園 北登山口 姫越山山頂 芦浜 南登山口

泊

(15日) 歩行5時間 泊地7時発 260号線 阿曾浦線(アチ河内川) 駐車地 峠
局ヶ頂山 塩竈浜(しゅうがはま) 峠 駐車地

帰路 温泉♨️? 道の駅 飯高の湯

Or 榊原温泉

持ち物 通常山行用品

泊用品 or 武器

出来るだけ負担掛けずに出来るもの

✂切 4月11日(水)

2月例会山行報告

雪の伊吹山（1377m）

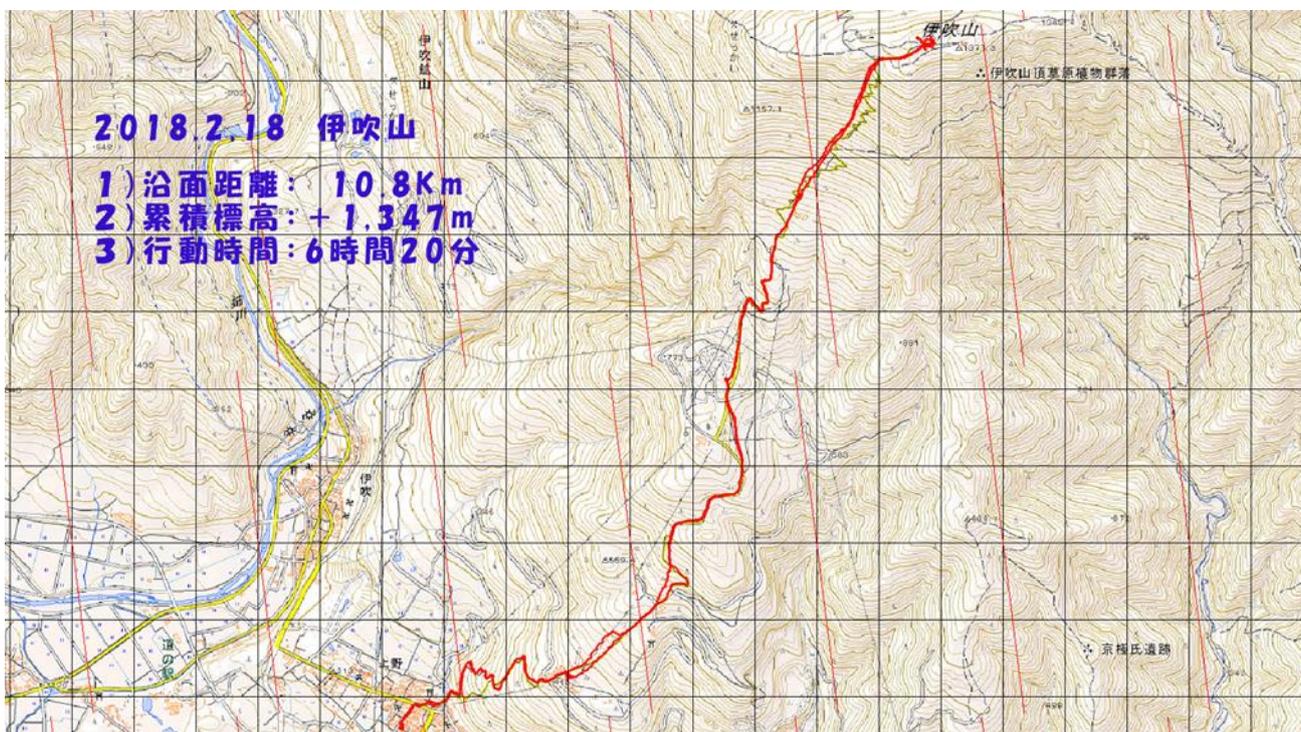
- 実施日：2018年2月18日（日） 天候：曇りのち晴れ
米原の最高気温 3.5℃、最低気温 -3.5℃
最大風速 7m/s



- 参加者：14名

- コースタイム：6：30JR 野洲駅=7：00 竜王IC=8：20 駐車場着

8：42 上野登山口-9：12 一合目（アイゼン装着）9：25-10：15 三合目 10：25-
10：55 六合目 11：03-12：25 山頂 12：35-12：55 七合目付近（昼食）13：25-
14：28 一合目（アイゼン外す）14：45-15：00 登山口着



- 会計報告（竜王IC起算）

A. ガソリン代=56km×往復×@30×4台=13,440円
B. 高速料金（竜王～米原）=900円×往復×4台=7,200円
C. 駐車場代=400円×4台=1,600円
一人当たり=(A+B+C)÷14名≒1,600円

- 報告

前日の伊吹山は強風で吹雪だったそうで、当日早朝も彦根は雪がばらついていた。曇り空ではあった

が午後からは晴れるとの天気予報を信じ、強風は覚悟で山行を実施した。ところがお天気の回復は早く予想に反してお天気となり、心か心か新雪の雪山ハイクとなった。パーティーは参加人数が多く二班編成とした。人気の山で登山者が多く、トレースもしっかりあったのでラッセルの必要は無く歩きやすかった。当初山頂で昼食を取る予定をしていたがやはり山頂は風が強く記念撮影をして下山開始。心配していた山頂直下の急な斜度も雪の状態もよく皆転ぶことなくおもしろいトレースで眺望を楽しみながら下山。伊吹ブルーを堪能した。コウテンの女神様ありがとう！

■ 一口感想



ガスと強風の訓練山行になるかと思いきや、駐車場のおじさんの言葉通り快晴で、素晴らしい伊吹ブルーを体験することが出来ました。気温の低い日はスノーシューが歩荷になってしまいますね。アイゼンのみか、アイゼンとワカンの組み合わせがベストだと思いました。



伊吹山は6回登ってますが、冬山は初めてで、美しいスカイブルーと真っ白な山容は、アルプスに来たような気分になりました。不安な気持ちを持ちながらの参加でしたが、運良く登頂できて、万歳！楽しかったです！



今日の（初）伊吹の雪山はトレーニング山行？ いやいや

伊吹山に近づくとつれ青空が広がってきた。どなたかの晴女神が微笑んだ。

山容は厳しいイメージのように見えたが、多くの人で賑あっており

トレースはガッツリ付いている。

ひたすら歩いて6合目の避難小屋から頂上までは、1本道の直登であったが

段状の踏み跡があり夏場より楽に登れた。

9合目からの樹氷と霊仙山、びわ湖が一望でき見応え満載であった。

強風を避け、山頂の神社に避難しながらB班を待って下山となる。

座布団シートをヒップソリの代用にして滑るのに夢中になり、ピッケルとテルモスを落とすが全く気付かないありさま。幸運にも両方とも届けていただいた。

（こういうときのために名前は記入してあります）感謝した一日でありました。



天候が悪くて訓練山行になると思っていましたが、好天の中で雪山を楽しむことが出来ました。冬の天気予報は夏に比べると簡単だと聞いていますが、わずかな違いで私達が感じる天候は大きく変わるのかもしれない。また、伊吹山は独立峰のため、基本は風が強いようで、霧のかかることが多いようです。

10年ほど前の冬に登った時は、登りはアイゼンなし、下りはアイゼンを着けましたが、そんなに急な感じはしませんでした。雪崩を考慮するためでしょうか、最近ルートが直登につけられるためかもしれません。いずれにせよ、雪山は降雪直後にどのようにトレースが付けられるかで難しさも変わります。

全体にピッケルよりもストックの方が歩きやすいと思いますが、頂上直下の下りは、もし転倒した時の安心感を考えると、やはりピッケルの方が優れていると思います。ただし、使い方を知っていることが必要です。

岳友会も次第にパーティ内の体力差が広がってくるようで、今回も元気な（比較的ですが）若い人のペースにはなかなかついていけないこともありました。メンバーに力の差がある場合には、それに応じてパーティを分けて、最初から別のペースで歩くことを考えても良いと思います。



3月例会山行報告

蛇谷ヶ峰（小棕栖山） 901.7m 比良山地

日 時 2018年3月4日（日） 晴

参加者 計13名

C T 桑野橋 8:00→きのこ研究所 8:50→登山口 9:05→猪ノ馬場→天狗ノ森→反射板 9:50
→蛇谷ヶ峰山頂 11:00→ランチタイム→下山開始 11:40→朽木スキー場 12:40

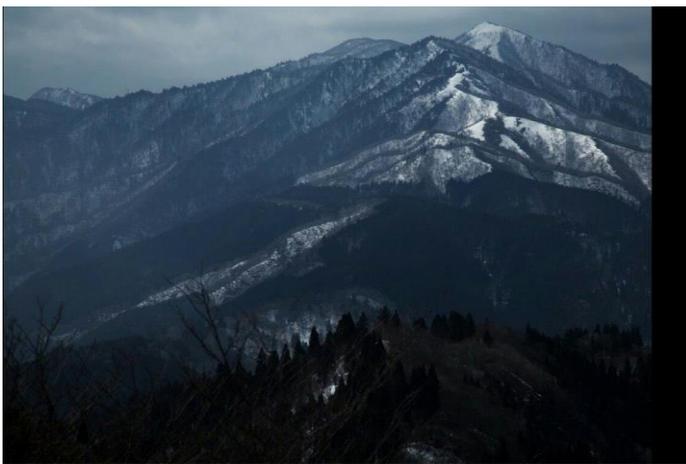
報 告 桑野橋から南へ国道沿いにトイレがある駐車場からスタートです。市杵島神社の南側から林道に合流します。雪はすっかり解けて急な舗装道の植林帯を登ります。倒木はありますが荒れた印象はありません。きのこ研究所を経て登山口。ここから登山道、少しずつ残雪が現れます。尾根に出ると風が気持ち良いです。見晴らしのいいところでは高島トレイル方面の山々が望めました。段々と残雪が多くなり滑りやすいです。反射板からは釣瓶～武奈ヶ岳への稜線が開けます。山頂でランチタイム。風は弱いですがじっとしていると寒いです。下山ルートはまだ残雪が多く踏抜きに注意して気を付けて朽木村スキー場へ下山しました。

1 口感想

今年2度目となった蛇谷。前回はたいへんな積雪で山頂の標識が上のほうだけ顔を出しているくらい雪が積もっていましたが、1ヵ月ほどの間にすっかり様子が変わっていて驚きました。折しもこの日は春本番のような陽気で季節は確実に進んでいることを体感できる山行となりました。

近場では今年最後になるだろう雪を楽しみました。いつものコースとは別で新鮮でした。最初の林道歩は歩きにくかったですが美しいアカマツの森も見られました。

蛇谷ヶ峰はすっかり春山。ワカン、アイゼンの出番なし。しかし展望も良く山座同定をしながら歩き、山頂ではジャンプで盛り上がり予想外の楽しみ方でした。



2018年2月山行記録

山行期間	山域・山名	例会 等	参加者数		プロ グ 掲載
			会 員	会 員 外	
2/2 ~ 2/4	鈴鹿・竜ヶ嶽		2	1	○
2/3	鈴鹿 藤原岳	例会下見	3		
2/3	鈴鹿山系 / 綿向山		1	1	
2/3	鈴鹿山脈 藤原岳		1		
2/4	藤原岳	例会	16		○
2/4	比良山系 釣瓶岳～武奈ヶ岳		1	1	
2/7	京都寺社巡り②		7	6	
2/8 ~ 2/18	ニュージーランド北島 ナウルホエ山・ルアペフ山・タラナキ山		1	4	
2/10	八ヶ岳 天狗岳		1	1	○
2/11 ~ 2/12	丹後スノーハイク(青葉山、鍋塚)		10		○
2/11	六甲山		1	2	
2/12	鈴鹿 竜ヶ岳(1099m)遠足尾根		3		
2/12	霊仙山		4		○
2/12	鈴鹿山脈 東雨乞岳		1		
2/14	綿向山 1110m		7	1	○
2/14	愛宕山(ツツジ尾根～愛宕山～竜ヶ岳～清滝)		2		
2/17	竜ヶ岳(鈴鹿)		1	1	
2/17	三上山北尾根		15		○
2/18	伊吹山	例会	14		○
2/18	伊吹山		1	2	
2/18	武奈ヶ嶽		1		
2/23	湖南アルプス 鷄冠山		1		
2/24 ~ 2/25	奥美濃 大日ヶ岳 (雪洞訓練)		6	5	○
2/24	大石山 407m		1		
2/24	赤坂山		2		
2/24	赤坂山		1		

※ コース、人数等は、事前に提出された計画書に基づいて記載していますので、
実際とは異なる場合もあります。

近郊の三上山、音羽山などの個人山行は、通常は記載しません。

複数の月にまたがる山行は、両方の月に掲載しています。